

三原市立大和中学校区で育成を目指す情報活用能力(整理・分析)に関する各教科の具体例

～音楽科～

学 年

中学校第1学年

単 元(題 材)

創作

内容

A 表現(3) ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。

イ(イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。

ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。

見方・考え方

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること

学習目標

音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えたことをもとに、創作表現を創意工夫する。

整理・分析の型

6 KJ法的な手法を用いて整理・分析する

整理・分析の具体

自分のイメージしたものを音で表現するために、映画音楽の作曲家の作品を鑑賞して、音楽を形づくっている要素の情報を収集する活動を実施した。その後、「襲われそう」などの曲のイメージに対して、「リズム」、「テンポ(速度)」、「強弱」、「音色(楽器、音質など)」の視点で、感じたことを整理した。

